

中央地区環境市民会議が調べた環境の現状

中央地区は、6地区の中で最も緑比率が低い地区ですが、会員の専門性を活かして多様な活動を実施しています。

浅川のごみは少しずつ減少していますが、川口川・橋の周辺・目の届かない所の投棄ごみやペットの糞の放置が目立ちます。アメリカザリガニ等の外来種対策も継続していく必要があります。

歴史ある地域・湧水を守り、自然災害に対する先達の知恵等をまちなかウォッチングで知ってもらい、工夫しながら次世代に繋げていきたいと思います。

■ 中央地区の主な取組

1 地球温暖化防止のための省エネ生活の推進

みどりのカーテン普及のため、ゴーヤの苗を400個育て、環境フェスティバルで配布しました。

また、出前講座として、公民館・学童保育・サロンなどで、写真や紙芝居・クイズなどで地球温暖化防止の大切さについて楽しく学べる講座を17回開催し、地球温暖化防止やゼロカーボンシティ宣言を市民に理解してもらうための取組を行いました。児童をはじめ若い世代の関心が高いため、今後も継続していきます。

地球温暖化防止活動推進員として家庭グループの打ち合わせを5回開催し、延べ48名が参加しました。



ゴーヤの苗作り

2 ごみの分別徹底とリサイクルの推進

中野七夕まつり・台町市民センターまつり・子安市民センターまつり・いちよう祭りに参加し、海洋プラスチック問題の対策として、クイズを交えてプラスチックを使わない生活への転換を市民にアピールしました。



学童保育での出前講座

3 河川の清掃活動

5月に中野橋近辺で清掃活動を実施し、11名が参加しました。また、9月に浅川橋近辺で清掃活動を実施し、10名が参加しました。合計で、可燃ごみ17袋、不燃ごみ1袋を回収しました。

自然環境保全プロジェクトでは、河川内のポイ捨てごみ回収を6回実施し、延べ9名が参加しました。可燃ごみ11袋、不燃ごみ7袋、アルミ型材、車のランプ、塩化ビニール管などを回収しました。レジ袋のごみが圧倒的に多い状況です。



いちよう祭りでの活動

4 河川の巡回観察・調査活動の推進

河川巡回・課題別巡回を29回実施し、延べ36名が参加しました（浅川12回、南浅川7回、山田川5回、川口川5回）。川口川のポイ捨てごみの多さは、大きな問題です。

河川調査は、身近な水環境の全国一斉調査、水生生物調査、水質・水生生物調査、湧水集水溜り調査を全17回実施し、33名が参加しました。国内外来種・外来種対策や生物多様性の保全は、今後も重要な課題です。



清掃活動

5 環境教育・環境学習などの推進

エコひろばの環境教育支援事業「川の学習」では、地区内小学校5校（第四小学校、第五小学校、第九小学校、第十小学校、大和田小学校）と地区外小学校2校（七国小学校2回、柏木小学校）に対して、合計8回支援し、延べ43名が参加しました。他にも市民講座「川の探検隊」を2回支援し、3名が参加しました。

八王子浅川水辺の楽校運営協議会主催の「ウグイの放流」、「ガサガサ探検隊」に、延べ10名が参加しました。

川の学習サポーター養成講座には、実行委員会を含めて6回支援し、延べ10名が参加しました。



ごみの運搬状況

6 まちのみどりの保全

第四小学校の校庭にある主な樹木に名札付けを行ったほか、花植え活動の支援も実施しました。

また、環境グリーンマップに最新の状況を調査した結果を反映しました。



湧水集水溜り調査

7 大気汚染測定

大気汚染測定運動東京連絡会主催の全都一斉測定運動に参加し、6月と12月に二酸化窒素濃度の定点調査を実施しました。居住区域3か所の測定結果が、環境基準以下で安定していることを確認しました。



第十小学校川の学習

■ 特色のある取組

自然体験講座として、まちなかの歴史と自然を紹介する「まちなかウォッチング」を5月と2月に開催し、合計で35名が参加しました。



まちなかウォッチングの様子